

登米の力 とめのちから 登米の地から

新入社員フォローアップセミナーを開催しました

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所地方振興部

11月8日（火）にキャリアカウンセラーであるアレグリア有限会社の手戸和喜氏を講師にお招きし、「新入社員フォローアップセミナー」を開催しました。

このセミナーは、管内企業等に勤務して半年程度の新入社員を対象に、社会人としての基本（考え方やスキル）を再確認してもらうとともに、現在の自分を振り返ることで個々の課題解決方法と、これからのキャリアビジョンを考えてもらうものです。

研修では、仕事の基本となる「報告・連絡・相談（ホウ・レン・ソウ）」のポイントを再確認したり、会社から求められる役割や自分の今後の目標について考え、グループで話し合い、発表を行っていただきました。

参加者からは、「今の自分を見つめ直す良い機会となった」といった感想をいただきました。

地方振興部では、今後も継続して管内企業の方を対象にした研修を実施してまいります。



研修の様子①



研修の様子②

～「トメ旅！2022」を開催しています～

このイベントは、登米市内9地域をまわりながら9つの『現地でクイズ』に答え、3つ以上クリアすると、クリア数に応じて、「煮込みハンバーグと赤豚しゃぶしゃぶセット」や「登米物産品詰め合わせセット」など豪華景品が抽選でもらえる、登米市の魅力を再発見できるイベントです。『現地でクイズ』の内容は市内の道の駅や産地直売所、公民館等に配架しているチラシに記載しているほか、一般社団法人登米市観光物産協会のホームページにも掲載しています。

開催は令和5年1月31日（火）までです。ぜひご参加ください！

詳細については、登米市観光物産協会ホームページをご覧ください。

<https://www.tome-city.com/publics/index/440/>



新規就農者の育成支援に取り組んでいます

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業振興部

登米市では、令和3年度から県事業を引き継ぐ形で「登米農業マイスター事業」を実施しています。マイスター事業では、自身で新たに経営を始めた独立就農者や親元で新たな部門を立ち上げた就農者を対象に「マイスター（熟練農業者）」を派遣して、早期の生産技術習得や経営安定化等に向けた個別技術指導を行っています。

今年度は市内の2人が支援対象となっており、米山町の後藤さんには、株式会社グリーンライス代表取締役の加藤氏から加工用トマトの栽培管理や収穫

作業について、南方町の佐々木さんには、株式会社アグリみらい代表取締役でJAみやぎ登米肉牛部会長の千葉氏から和牛繁殖における飼養管理等について、それぞれ現地指導を実施していただきました。

指導を受けた2人は、マイスターから直接営農技術を学ぶことができたことに加えて、地域の先輩農家との人脈ができたことが良かったとの感想を述べていました。

農業振興部（登米農業改良普及センター）では、今後も登米市や関係機関・団体と連携し、農業後継者育成に取り組んでまいります。



加工用トマトの収穫技術指導



繁殖から肥育までの飼養管理技術指導

宮城県総合畜産共進会肉豚の部開催 登米市の養豚農場が第1区名誉賞を受賞！！

宮城県東部家畜保健衛生所

令和4年10月28日（金）、登米市米山町の（株）宮城県食肉流通公社で宮城県総合畜産共進会肉豚の部が開催されました。

肉豚の部は、出品条件で2つに区分されます。宮城県が造成した種豚をかけ合わせた品種である宮城野豚の第1区、それ以外の豚を対象とした第2区で構成され、それぞれ66頭、56頭の出品がありました。

登米市は養豚生産地帯であることから、第1区で6農場41頭、第2区で4農場20頭の出品があり、県内随一の出品頭数になりました。

宮城県畜産試験場長を審査委員長とした審査員が肉づき、脂肪付着、肉の締まり、肉色等を厳正に審査した結果、第1区の名誉賞を登米市の佐々木昭さんが受賞、次席の最優秀賞1席から3席まで登米市の養豚農場が受賞し、登米市の養豚農場が上位入賞を独占しました。

東部家保は今後も管内養豚農家、関係機関と連携して、安全・安心かつ肉質良好な肉豚生産を支援していきます。



第1区名誉賞の豚肉 丸要畜産は購入者



名誉賞の授賞式

「特定家畜伝染病の防疫研修」を開催しました

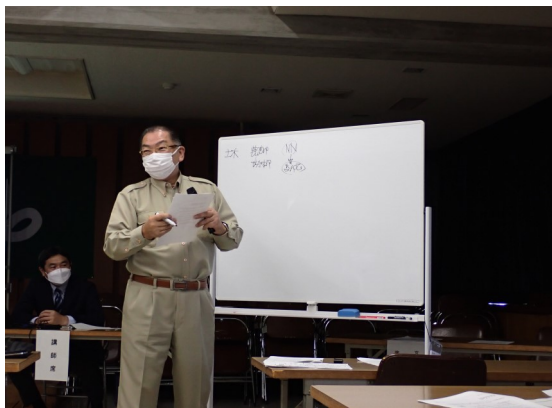
宮城県東部地方振興事務登米地域事務所農業農村整備部

11月15日（火）に特定家畜伝染病の埋設に関する防疫研修を宮城県建設業協会登米支部と合同で開催しました。

研修会には建設業協会職員や県職員など約100人が出席し、埋却の対応等について座学研修を行いました。講師として、大河原地方振興事務所農業農村整備部の佐々木総括次長、宮城県建設業協会仙南支部の廣谷支部

長から、昨年度大河原管内で発生した豚熱の埋却対応の経験談や今後整理・検討すべき課題などをわかりやすく詳細に説明していただきました。

今年度も県内では気仙沼地域で高病原性鳥インフルエンザの埋却対応が行われ、当管内でも緊張感が高まっていることから、発生時には円滑な防疫処置が行えるよう関係機関との準備を進めております。



宮建協仙南支部廣谷支部長



研修会の様子

津山町林業研究会の林業体験学習に協力しました！

宮城県東部地方振興事務登米地域事務所林業振興部

津山町林業研究会が毎年開催している林業体験学習の実施に協力しました。

10月には、柳津小学校と横山小学校の児童を対象として、通常の品種と比べて花粉の発生量が1%以下の少花粉スギ苗木の植栽体験が行われました。参加した林業普及指導員は、植栽のサポートを行ったほか、苗木の特徴や再生林の大切さなどについて説明しました。

また、12月には、古川工業高校の生徒を対象としたインターンシップが行われ、植栽体験のほか、10月に

小学生が植栽した苗木も含め、二ホンジカの食害を受けないように、単木防除資材の設置を行いました。

小学生も高校生も、山の中での慣れない作業となりましたが、互いに協力し合って怪我なく無事に植栽体験を終えることができました。

林業の現場では慢性的にマンパワー不足の状態が続いているので、このような体験学習の経験をもとに、林業に関係する仕事がしてみたいという気持ちが少しでも芽生えてもらえたら幸いです。



小学生によるスギ苗木の植栽体験



高校生による植栽とシカ防除対策設置体験

「河川クリーンキャンペーン」を実施しました

宮城県東部土木事務所登米地域事務所

河川への不法投棄を防止し、河川愛護を推進するため、宮城県建設業協会登米支部と当事務所では、毎年、迫川の一斉清掃活動「河川クリーンキャンペーン」を実施しており、今年で44回目となります。



参加した建設業者の皆さん

11月17日（木）に、建設業17社・1団体101人と当事務所職員16人が参加して登米市内の迫川と旧迫川の清掃作業を行い、当事務所で50kg、全体で710kgの一般ゴミのほか、廃タイヤ・廃家電等を回収しました。



事務所職員でのゴミ回収の状況

「土木部防災訓練」を実施しました

宮城県東部土木事務所登米地域事務所

11月18日（金）に大規模災害に備えるため、県や土木部BCP計画と当事務所のBCP計画に基づき、災害発生時の初動対応について、手順や優先度を確認し、危機管理体制の課題点を抽出するために防災訓練を実施しました。

※BCP計画とは

自然災害など危機的な状況に遭遇した時に損害を最小限に抑え、重要な業務を継続し早期復旧を図ることを目的とした計画です。

今年は、県内に震度6弱以上の地震が発生したとの想定で、県内の土木部関係事務所で一斉に訓練を実施しました。当事務所での訓練内容は、緊急輸送路などの被害状況や規制状況の情報伝達、また、長沼ダムでの現地での被害調査やドローンを活用した合同庁舎の外観被害確認を行いました。

今後、発生が予想される災害対応に向けて、実際に想定される状況を訓練に盛り込み、緊張感を持って行うことができました。



所内での被害情報整理の様子



長沼ダム漏水調査の手順確認の様子